

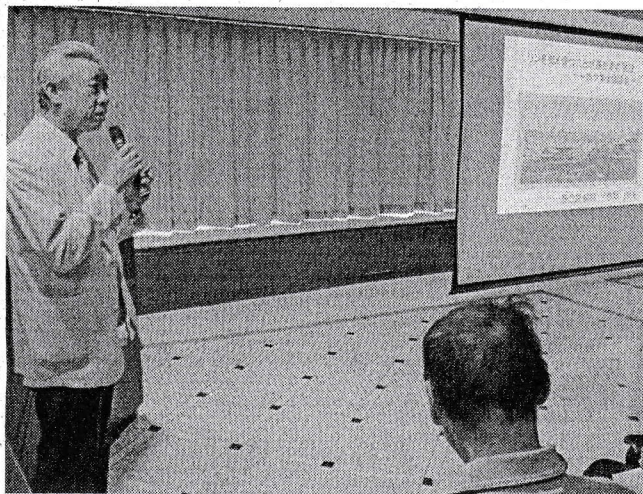
9/4(金) 奈良新聞

9/4(金) サンケイ

健康

◆透析勉強会 6日(日)

午後1時～3時半、奈良市六条町の西の京病院4階メビウスホールで。透析患者やその家族を対象に、塩分を取りすぎた場合の対処や長生きの秘訣などについて、医師や看護師らが解説する。同病院かかりつけ患者以外の参加も可。問い合わせは同病院(☎0742・35・1121)。



リンと老化、寿命の関係を解説する吉岡センター長
6日、奈良市六条町の西の京病院

西の京病院で透析勉強会

リンの値 低く保って 専門の医師が解説

奈良市六条町の西の京病院(高比康臣理事長)で6日、透析勉強会が開かれ、患者や家族ら130人が参加した。同病院の吉岡伸夫透析センター長が「リンを低く保つことが長生きの秘訣(ひけつ)」で講演。近年解明が進むリン濃度と老化、寿命との関連について解説し、「透析患者や慢性腎臓病の人は薬を適切に服用し、リンの値を下げるのが大切」と述べた。

また、同院の看護師、

管理栄養士が塩分摂取や間食に関して講演。同院で透析を受けるテノール歌手の小林正夫さん一家によるコンサートもあり、オペラやミュージカルの名曲などが披露された。同院は現在、四つの透析センターで約360人の透析患者を診療。勉強会の冒頭では、高比理事長のあいさつに続き、同院で透析中の和田幹男県腎友会副会長が同院の透析患者会「四つ葉会」の設立を発表した。



